俳句

9月20日（土）
「紀氏邸址」「国分寺」

合田　青幹

中門へ白萩こぼる甃

貫之の月一文字の真筆碑

吉本　伸秋

庭石は苔生す心礎寺の秋

遠近の刈田を拡げ鷺の立つ

小笠原さちを

秋気満つ雨の本堂　柿葺き

雨上がる気配に鵙の高音かな

國松　勝　絵画個展のご案内
「日曜市と民家をえがく」
2015年3月3日～4月3日
四万十町立美術館
入場無料

短歌

夢と偶然　榊原忠彦

開戦の号外散らすと拾ひ取る
未明の夢見と同じ「朝ドラ」
（九月五日『花子とアン』）

吾が名づけし友の三女は六十歳「気に入っています」とほがらかに笑む
（故井上英生君の末娘）

あちこちに青空も見え茜雲ささなみなして染める夕刻
（台風十八号近づく前々日）

新聞記事　山本晶子

飼い猫はまるまる太り野良猫は痩せ細りいて生ゴミあさる

一万枚年賀はがきを売るノルマ課せられ嘆く郵便局員

戦闘機一機で給付奨学金まかなえるという新聞記事読む

希望　叶岡淑子

漸くに夫の納骨終えにけり白き墓碑には「希望」と刻む

愛用のハーモニカ、化学のノートまた人生記録のファイルも納めぬ

満席のオレンジホールに夫と並びアシュケナージに聞きほれし日よ

川柳

七十歳の日々　小澤幸泉

指でなんてなお親指に使われる
ボケてしまあ出たっとぉ（いまを）撮る
老妻の後姿ここまで付いてきた
美しい足が福音（おとずれ）運れくる
思えば書は笑ってすり抜ける
この空のフワッと鬱の町のある
みんなも信じぬ友の影送り
生きてきた日々面白くてるかえる
あぜ道での道はみんなで選せん（ぜん）
振り向く後　前へ立門（たもん）と決めたてる

高退協の仲間が参加した10.15昼休み集会

飲水思源

ポストホックとプロプテルホック

横田　慧

私が四〇歳のとき、左下まぶたに、小さな突起物がいくつも出て、涙が止まらない病気になりました。高知市内の眼科を五つもまわって診てもらいましたが、治りません。最後の眼科では、内側からメスを入れて、その上に薬を塗りましたが、それでも治りません。ついに、鍼で有名なS医師をたずねて、助けを乞いました。S医師は、私を仰向けに寝かすや、足の裏にはじまって、頭頂部までたくさんの鍼をうちました。それで、みごとに治りました。二度と治療を乞うことはありませんでした。

それより一〇年まえ、三〇歳のとき、佐川高校に通い始めるやいなや、花粉症にかかり、高知市の有名な耳鼻科に通いましたが、なおりません。それから三〇年近く、春になると苦しめられました。退職近くになって、南国市にも鍼治療の上手なN医師がいることを思い出し、さっそく頼みました。ほぼ一ヶ月はかかったものの、完治しました。N医師も嬉しかったのでしょう。「東洋医学見聞録」という著書で、私の治療例をくわしくあげています。それから二〇年近く経って、花粉症らしい症状がでるようになりましたが、かつてのように苦しめられるほどのことはありません。

もっとも新しい経験ですが、ピロリ菌退治の治療中、突然激しい耳鳴りが起こり、一睡もできない夜が一日おきにあり、眠れた夜といっても二～三時間ていどで、気が変になりそうでした。耳鼻科の医師は「治りません、治す薬もありません」と言い、精神科をすすめられ、そこで安定剤と眠り薬をいただきましたが、治らない、という同じ宣告をうけました。そこで、花粉症治療をうけたN医師を頼って、治療をお願いすると、すぐにパンツ一枚にされ、全身の背面に、三〇数本の鍼をうって、一五分で治りました。

私は、ピロリ菌退治が耳鳴りのもと（プロプテルホック・それゆえに起こったこと）思っていますが、医師は、単なる前後関係（ポストホック・その後で起こったこと）とみています。証明された法則も法則ですが、鍼灸の経絡が解剖的に存在しないからといって、あなどれません。証明された法則だけを法則と考えるなら、法則の半分しか知らないとも言えます。ポストホックに見えて、プロプテルホックがひそんでいるのです。

・・・・・・・・・・・・・・・・

高退協事務局編集係りから

この号で横田さんの「飲水思源」最終稿となります。横田さん長期間の連載ありがとうございました。「飲水思源」は、編集係りにとっても学びの教科書であり、今度は何を、次はどんな内容をと毎回楽しみにしていました。残念なことですが仕方がありません。本当にご苦労さまでした。